

太祖瑩山紹瑾禪師

七〇回 大遠忌



曹洞宗大本山總持寺

報恩参拝のご案内

参拝期間

令和5年10月1日～11月29日

令和6年4月24日～10月30日

太祖瑩山紹瑾禪師 700回大遠忌

— 御両尊大遠忌報恩法会 —



大本山總持寺 石附周行 貫首

ご挨拶

大本山總持寺では、皆さま方からの格別のお力添えにより平成 27 年に二祖峨山韶碩禪師 650 回大遠忌を奉修し、一筋の流れによる「御両尊大遠忌報恩法会」として来る令和 6 年に太祖瑩山紹瑾禪師 700 回大遠忌を迎えます。

高祖道元禪師が伝東された正伝の仏法は、御開山瑩山禪師に綿密に受け継がれ、二祖峨山禪師へと相承され、今日に至ります。

「相承—大いなる足音が聞こえますか—」

お釈迦さまから代々の祖師方によって伝えられた仏法が脈々と受け継がれてきた大いなる足音を確認し、現代に生きる仏法を求めていくことを大遠忌のテーマとして掲げています。瑩山禪師は、「平常心」とは喫茶喫飯、日常茶飯事の平常の心と受けとめています。つまり、その時々場の「心のありよう、受けとめよう」が大切であるとお示しであります。

相承の道は報恩の道であります。大遠忌奉修に際し、宗門を挙げてまことを捧げるとともに、コロナ禍や諸事多難な社会情勢に照らしながら、皆さまと力を合わせまして、一層意義深い報恩の勝会にいたしたいと冀います。

ぜひともこの佳辰にあたり、本山へご参拝いただき心からなるご焼香を賜りますよう謹んでお願い申し上げます、ご挨拶といたします。



太祖 瑩山紹瑾禅師について

曹洞宗の大本山・總持寺の開祖である瑩山紹瑾禅師は、お釈迦様の教えである「正法」を全国へと広め、曹洞宗の教団発展の基礎を築きました。

文永元(1264)年10月8日、越前の国、多禰邑の豪族・瓜生邸にて生を受け、熱心な観音信者の母に育てられた瑩山禅師は、幼少のころより信仰心に目覚め、わずか8才にして出家の志を發します。

世相を離れ、ただひたすらに仏法の真意を求めて弁道に励んだ禅師は、のちに總持寺をはじめとした数ヶ寺の建立とともに、多くの優秀な弟子を輩出し、教線の拡大をはかります。

文永8(1271)年、8才の年に永平寺に上り、徹通義介禅師について出家をした瑩山禅師は、13才で菩薩戒を受け正式な僧侶となりました。その後28才で阿波の城満寺の住持に迎えられ、のちの4年間で70余名の弟子に仏戒を授け、やがて大乘寺へと移り、義介禅師のあとを継いで2代目の住職となります。

58才の年には能登国櫛比庄の諸嶽寺を寄進され、現在の大本山總持寺の起源となる禅寺へと改めました。生涯を布教に投じた禅師は、祈祷や追善供養などにも積極的に取り組み、また当時では珍しい男女平等の姿勢を打ち出すなど、老若男女に門戸を開き、多くの人々の救済に努めました。

衆生と信仰との橋渡しとなり、数々の偉大なる功績を残され、正中2年(1325)9月29日、62才で遷化。その生涯は、求道と布教にささげられたのでした。

団参募集のお願い

御両尊大遠忌法会もいよいよ令和6年(2024年)4月1日より、太祖瑩山紹瑾禅師700回大遠忌を迎えるに至りました。

コロナ禍といわれる昨今、太祖瑩山紹瑾禅師が照らされた光明は何をお示し下さるのか。

そこに思いを致し、太祖様の慈訓に触れる機会を設けて頂きたく、此処に改めて大本山總持寺へのご参拝のご案内を申し上げます。

参拝要項

1 参拝団と記念参拝期間

記念参拝期間 令和5年10月1日～11月29日
令和6年4月24日～10月30日

期間中は「日帰り団参」、「宿泊団参」、ともに大遠忌団参として受入れさせていただき、団員の皆様に参拝記念品を差し上げます。

参拝団の皆さまを山内拝観とともに、本山役寮が導師を勤めます拝登諷経ご焼香へのご案内いたします。上記期間中の1日の法要時間の目安を下記の通りに定めますので、委託される各旅行会社とお打ち合わせの上、無理のない参拝計画をお立てください。

早晨 5:00 午時 11:00 晡時 14:00

※時間は目安です。山内行持等により時間の変更もございますので、予めご了承ください。尚、山内行持等により受入れ数など一部制限をお願いする場合がございます。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。末頁の参拝カレンダーをご参照ください。

※下記の法要期間は参拝のお申込みはお受けできません。

予めご理解ご協力の程、お願い申し上げます。

● 予修法要期間

令和5年10月9日～10月18日

● 本法要期間

令和6年4月1日～4月21日

● 慶讃法要期間

令和6年5月27日～6月2日

令和6年10月9日～10月15日

2 焼香師お勤めのお願い

太祖瑩山紹瑾禅師700回大遠忌報恩法会に際し、ご住職様にはこの勝縁に焼香師をお勤めくださいますようお願い申し上げます。各ご寺院様と本山とのご縁を更に深めていただきたく存じます。

焼香師のお勤めは、春の御授戒会と秋の御征忌会の二期法要中のみではありますが、焼香師お勤めの機会を今回の記念参拝期間にお受けいたします。

① 焼香師の受け入れ期間

記念法要期間 令和5年10月1日～11月29日・令和6年4月24日～10月30日

※御授戒・御征忌、予修法要・本法要・慶讃法要期間中は受入れできません。

また、山内の事情により、お受け出来ない場合もございます。

② 法要時刻（目安）

早晨 5:00 午時 11:00 晡時 14:00

③ 宿泊参拝団と日帰り参拝団

宿泊参拝団・・・本山に1泊して、翌日に焼香師をお勤めいただきます。

日帰り参拝団・・・拝観等をすませ、焼香師をお勤めいただきます。

※ご希望のご寺院様には、別途資料をお送りいたします。

3 尊宿諷経・総諷経のお申し込みについて

この度の大遠忌参拝の機会に、総諷経（檀信徒ご先祖供養）をぜひご検討ください。
ご希望の際は、別紙の参拝団予約申込書に必要事項を記入して、大遠忌局へ FAX にてお申し込み下さい。お申し込み後、別途『読込名簿』を送付いたします。

※総諷経の読込みは施主名のみとなります。

戒名等の読込みを希望される場合は、1霊につき10,000円が必要となります。

費用につきましては、「4.参拝恩金」をご参照ください。

総諷経お申込みの際には、檀信徒の皆様にご「先亡精霊供養」の回向証を授与いたします。

4 参拝恩金

【献香料】（記念参拝期間のみ）

ご寺院・随行寺院	1名 10,000円以上
参拝団員（檀信徒）様	1名 3,000円

【宿泊・お膳】

<本山宿泊ご希望の場合> 1泊団参費 1泊2食（薬石・翌日小食）	1名 10,000円
<日帰りでお食事をご希望の場合> 点心膳	1名 3,000円

【尊宿諷経・総諷経】

尊宿諷経 総諷経	各 200,000円
※御親香の場合 ※戒名読込希望の場合（1霊につき）	各 700,000円 10,000円

【焼香師ご希望の場合】

焼香師恩金	150,000円
<宿泊団参の場合> 焼香師祝膳 1泊2食 ※御寺院様（随行寺院、寺族含む）は2名まで無料	1名 12,000円
<日帰り団参の場合> 焼香師祝膳（点心） ※御寺院様（随行寺院、寺族含む）は2名まで無料	1名 5,000円

記念品

焼香師様 随行ご寺院様 参拝団員（檀信徒）様 それぞれに用意しております。

5 参拝団お申し込みの流れ

- ① 大遠忌局参拝部へご連絡いただき、ご希望される参拝日時をご確認ください。
ご確認後、別紙の「予約申込書」に必要事項をご記入の上、FAXにてお送りください。
- ② 後日、大遠忌局より「参拝本申込書」を送付いたします。
「参拝本申込書」に必要事項をご記入の上、大遠忌局へお送りください。
※総諷経ご希望の方には、読込名簿を送付いたしますので、ご記入の上、ご送付ください。
- ③ 大遠忌局にて「参拝本申込書」の確認が取れましたら、「駐車許可証」等を送付いたします。

※本山行持等と重なる際はお受けできない場合もございますので、予め次頁の参拝カレンダーをご確認ください。お時間に余裕をもってご予約くださいますようお願いいたします。

宿泊者上限数や注意事項など、その他詳細を大遠忌局ホームページに掲載してまいりますので、ご参照ください。

ご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

大遠忌局参拝部専用 TEL 045-415-0054

FAX 045-710-0005

URL <https://www.sojo.jp/>

受付 平日9時～16時

大本山總持寺 相承

検索

令和5年3月1日(水)より受付を開始いたします。



2023年(令和5年)

2023 10月 <small>かんなづき 神無月</small>							2023 11月 <small>しもつき 霜月</small>						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
▲1	2	3	4	5	6	7				▲1	2	▲3	▲4
×8	◎9	◎10	◎11	◎12	◎13	◎14	▲5	6	7	8	9	▲10	▲11
◎15	◎16	◎17	◎18	×19	20	21	▲12	×13	×14	×15	×16	×17	▲18
22	23	24	25	26	27	28	▲19	20	21	22	▲23	24	25
29	30	▲31					26	27	28	29	×30		

2024年(令和6年)

2024 4月 <small>うづき 卯月</small>							2024 5月 <small>さつき 皐月</small>						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	◎1	◎2	◎3	◎4	◎5	◎6				1	2	▲3	▲4
◎7	◎8	◎9	◎10	◎11	◎12	◎13	▲5	◎6	◎7	▲8	▲9	▲10	▲11
◎14	◎15	◎16	◎17	◎18	◎19	◎20	▲12	×13	×14	×15	×16	×17	▲18
◎21	×22	×23	24	25	26	27	▲19	▲20	▲21	▲22	▲23	▲24	▲25
28	◎29	30					▲26	◎27	◎28	◎29	◎30	◎31	

2024 6月 <small>みなづき 水無月</small>							2024 9月 <small>ながつき 長月</small>						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						◎1	1	2	3	4	5	6	7
◎2	×3	×4	×5	×6	×7	▲8	8	9	10	11	12	13	14
9	10	11	12	13	▲14	15	15	16	17	▲18	▲19	▲20	▲21
16	▲17	18	19	20	21	22	×22	×23	▲24	▲25	26	27	28
23	24	25	26	27	28	29	29	▲30					
30													

2024 10月 <small>神無月</small>						
日	月	火	水	木	金	土
		▲1	2	3	4	5
6	7	×8	◎9	◎10	◎11	◎12
◎13	◎14	◎15	×16	17	18	19
◎20	◎21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	×31		

- ◎…予修法要期間
 - ◎…本法要期間
 - ◎…慶讃法要期間
- (焼香師優先の為、受入れ不可)

▲…受入れ制限有(時間帯不可・拝宿不可など)

×…受入れ不可日

※2024年(令和6年)7月・8月は、
各種山内行持及びお盆期の為、受入れ休止となります。



相承

S O J O

大いなる足音が聞こえますか

曹洞宗大本山總持寺 大遠忌局

〒230-8686 横浜市鶴見区鶴見 2-1-1

電話 045-415-0052 FAX 045-415-0053

参拝部専用 電話 045-415-0054 FAX 045-710-0005

